

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

横須賀街道

B1 坂里（さかさど）の柴山神社 掛川市坂里

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進み、旧国道150号線へ左折。東進し掛川市大東支所、国安橋を過ぎ、千浜小学校信号の次にある、旅館「鳴海屋」の信号を左折。県道244号を北上し、一つ目信号の先左側。

祭神は、須佐之男命、稲田姫之命。鬱蒼とした森の中はかなり大きな社殿がある。この森は、県指定の「ふるさとの自然百選」に選ばれている。



駐車場：国安橋は川の土手道、芝山神社にあり

入場料：－

トイレ：なし

同伴：家族、風景・歴史愛好家

食 事：旧国道150号線、千浜小学校交差点を南進し、国道150号線方向に500m
行った所にある和食「大松」 TEL 0537-72-4436

B2 菊川に架かる国安橋 掛川市国安



県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進み、旧国道150号線へ左折。東進し掛川市大東支所を過ぎて1km程行った所の菊川に架かる橋。

海まで2.5km、この橋から眺める川幅の広がった菊川の流れは雄大である。昔は、この国安橋は無骨なコンクリートで、空襲を避けるために黒いコーラタールが塗られていた。夏にはこの橋の袂から国安海岸へ海水浴に行く川舟が出ていた。また、花火もあがった。近年架橋し直し、広く明るくなった。見晴らしは前より格段によくなった。

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B3 潮騒橋

掛川市国安



潮騒橋



東方向にある風車。



蟻さんみたいなのは、サーファーです。

掛川市の最南端にある菊川（川の名前です）の河口にちょっと変わったアーチ型の潮騒橋があります。「遠州のからっ風」が始終吹いている場所ですが、駿河湾と潮騒橋の朝日や夕日は、絶景スポットになっています。橋から見渡せる何基もある風力発電装置や良い波を待つサーファーを見ていると、ボーっと時を過ごすことができます。

駐車場・トイレ：橋の西側に「大東総合運動場」があり、ここを利用すると便利

同 伴：家族、友人

B4 菊浜の庚申(こうしん)塔・石地蔵・馬頭観音 掛川市菊浜

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進み、旧国道150号線へ左折。東進し掛川市大東支所を過ぎて600m程行った所の右側の囲い木の中に、地元の人が祭る瓦ぶきの祠がある。

祠の中に「庚申塔」「石地蔵」、外に「馬頭観音」が祭られ、この道がまさしく「横須賀街道」であったことを示す遺物である。庚申様（道教ではこういうが、仏教では青面金剛、神道では猿田彦と混交されている。）は旅の安全、お地蔵様は衆生済度、馬頭観音は荷馬の守護（馬が死んだ所に供養として建てた）で、街道を行く人の心を癒した。

駐車場：ミナクル市にあり 入場料：－

トイレ：ミナクル市にあり 同 伴：家族、歴史愛好家

食 事：県道掛川大東線（県道38号）大東「大坂北」交差点を右折最初の信号手前、「おけや」食堂 TEL 0537-72-2543。

大坂交差点を南進最初の信号を左折し150m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約） TEL 0537-72-8117。

問合せ：掛川市大東支所 TEL 0537-72-1111

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B5 大東支所の展望台

掛川市三俣 620 0537-72-1111



展望台から見た菊川。

掛川市大東支所には、360度見渡すことのできる展望台があります。エレベータに乗って4階まで行き、扉が開くと、そこには、南は駿河湾、東に富士山、北に南アルプス連峰、西には浜松アクトタワーが見えます。あまり人がこない場所なので、絶好の癒しスポットです。お弁当を持って子供と行くのも良いかもしれません。

駐車場：有り トイレ：有り

B6 ミナクル市大城店

掛川市三俣

県道掛川大東線（県道 38 号）を大東「大坂」交差点まで進む。そして、旧国道 150 線へ左折し 300m 進み左側。

掛川市で最初に地場産品の直売を始めた所で、新鮮で質のよい大東産野菜が安い。掛川茶やメロンもある。「遠州夢咲牛」は予約で買える。経営は遠州夢咲農協である。



B7 沖縄料理「かりゆし」

掛川市浜野 1957 0537-72-8117

大浜中学校の南に沖縄料理「かりゆし」があります。沖縄本場料理が楽しめる場所は、掛川には数少ない場所です。



予算を決めて頼むことができます。

駐車場：有り

同伴：家族、友人



具が一杯のゴーヤチャンプル。

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B8 大坂の追分道標 掛川市大坂

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」交差点まで進む。そして、旧国道150号線へ右折する。500m先に斜め右に入る小道がある。そこに入って50m先に変則4叉路がある。その右手に大きな「日露戦争石碑」と小さな「追分道標」がある。

旧掛川街道と旧横須賀街道の「追分」すなわち「分かれ道」を示す道標である。風雨にさらされ、文字は「右・左」がかろうじて読める程度。この地点から北側の太田坂を越えて掛川街道が北へ延びていた。大きな坂を越えるので「大坂」の地名が生まれたという。

駐車場：矢柄神社にあり 入場料：－

トイレ：なし 同伴：家族、歴史愛好家

食 事：旧国道150号沿い中華料理「好（ハオ）」TEL 0537-72-5775。
大坂交差点を南進最初の信号を左折し150m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約） TEL 0537-72-8117。

問合せ：掛川市大東支所 TEL 0537-72-1111

B9 大坂の矢柄（やがら）神社 掛川市大坂

県道掛川大東線（県道38号）を大東「大坂」の信号まで進む。旧国道150号線へ右折し、700m西進し右側。

鎌倉時代に社殿を修理したという棟札のある古社である。10月第2週の土曜、日曜日に大坂・睦浜「五地区秋の祭典」が行われ、一本柱万度型屋台が15台で練り歩き壮観である。境内は静かで、旧国道150号線沿いの角に「秋葉燈」がある。なお、旧横須賀街道はこの神社の裏を通っている。



歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B10 中新井池のオニバス

掛川市中新井

県道掛川大東線（県道 38 号）を大東「大坂」の信号まで進む。旧国道 150 号線へ右折して 2.5 km 西進する。2 つ目の信号（大淵小学校手前）を右折北進。さらに最初の 4 叉路を右折東進し、次の 4 叉路を左折した左側。

絶滅危惧種、県天然記念物で、棘があり赤い花が咲く「オニバス」が群生していた。残念ながら今ではなくなってしまった。オニバスは小笠南部の「ため池」には菱とともにどこにでもあったが、最期まで残ったのはこの池のみ。県立横須賀高校の生物部が研究して世に出した。親水公園になっており、緑の桜「御衣黄桜」も植えられている。

駐車場：あり

入場料：－

トイレ：中新井池にあり

同伴：家族、歴史好きの人、自然が好きな人

食 事：旧国道 150 号沿い中華料理「好（ハオ）」TEL 0537-72-5775

大坂交差点を南進最初の信号を左折し 150 m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約）TEL 0537-72-8117

問合せ：掛川市大須賀支所 TEL 0537-48-1000

B11 岡原（おかばら）の銭亀堂

掛川市岡原

県道掛川大東線（県道 38 号）を大東「大坂北」信号（静銀の所）まで行き右折。3 km 程進んだ右手のお堂。反対側に「コーニングジャパン」の巨大な工場がある。

秘仏が祭られており、12 年に一度、さらに 60 年に一度の御開帳がある。ここを中心に行われる「大淵のさなぶり」は、初夏 6 月の早朝子供たちによって行われ、市指定文化財になっている。（「さなぶり」は「さのぼり」の訛りで、「さ」は稲のこと「のぼる」は終わること。田植終了を祝い豊作を祈る意味だという。）



歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B12 大須賀歴史民俗資料館

掛川市大湊

県道掛川大東線（県道 38 号）の大東「大坂」信号を右折。旧国道 150 号線を西進する。大坂信号から 3 つ目の「大湊小学校」前という押しボタン式信号を過ぎて 250m 行くと、標識（4 つ目の信号手前）がある。そこを右折してすぐ。



旧大須賀町時代にできた施設。土蔵造りの立派な建物である。展示物は、「三熊野神社祭典関係のもの」「軽便鉄道関係のもの」「農作業関係のもの」「消防関係のもの」「横須賀凧」「生活用具」など、幕末から明治、大正、昭和、それぞれの時代を支えた懐かしい物ばかりである。このような施設は市内ではここしかない。常駐する係りの人が、ていねいに説明してくれる。ちょっと昔の世界に触れることができ、楽しい時間が過ごせる。



駐車場：あり

入場料：—

トイレ：あり

同 伴：家族、歴史好きの人

食 事：旧国道150号沿い中華料理「好（ハオ）」TEL 0537-72-5775

大坂交差点を南進最初の信号を左折し150m、沖縄料理「かりゆし」（昼は要予約） TEL 0537-72-8117

問合せ：掛川市大須賀歴史民俗資料館 TEL 0537-48-6522

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

花

B13 御衣黄桜（ぎょいこうざくら）

掛川市西大渕

花が緑色の八重桜であり、見ごろは4月中旬。

掛川市役所大須賀支所（旧大須賀町役場）の南西の裏口を出て歩く。右手にムトウモーターズを見ながら西に100m、十字路を左に曲がって、100m南下、道沿いに3本ある。盛りの土日には、地元有志による桜湯のサービスがある。開花から1～2週間が見ごろ。尚、暖かくて開花が早い年には、その年の曜日の具合にもよるが、三熊野神社大祭（4月の第一金曜日～日曜日）見学のついでに見に行くことも可能。

100mほど東の、天王森の中の古楠神社とマレットゴルフ場の南側にも、何本もあるが、訪れる人は少ない。開花時期が1週間ぐらい早い。

三熊野神社の境内にも、若木が3本ある。

駐車場：有（掛川市役所大須賀支所）無料

問合せ：0537-21-1149（掛川市役所 商工労働観光課）

公式サイト：http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/k_jyoho/flower/gyoikou.html



B14 サンサンファーム

掛川市大渕 1456-312 0120-55-3386

掛川市内と近隣及び遠州地方の物産品、観光お土産品等を取り揃えており、休日にはひっきりなしに市内・市外はもとより、県外からも大勢の人でにぎわっています。地元特産物は、季節ごとに楽しめ、代表的なものでは、春はジャガイモ、玉ネギ、夏はスイカ、キュウリ、ピーマン、秋は栗、ナス、レタス、冬は自然薯、ミカン、ハッサクなど盛りだくさんです。

でも何と言っても挽ぎたて新鮮なメロン狩り（7月～8月）、イチゴ狩り（12月～5月）がお勧めです。イチゴは「章姫」「紅ほっぺ」があり、ゴルフボールより大きいものをお腹いっぱいになるまで食べることができます。

営業時間：9:00-17:00 定休日：木曜日

駐車場：約100台 トイレ：有り

<http://www.sunsunfarm.com/index.html>



歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B15 晴明塚

掛川市大淵



およそ千年前、京の都に安倍晴明という天文・暦学に詳しい陰陽師がおり、津波防止のためにここに小豆色の小石を積み上げて祈禱しました。すると津波があっても、ここだけは避けて被害はなくなり、村人は晴明の徳をたたえここに祀り晴明塚と呼ばれるようになりました。その後、晴明塚に祈願すると疱瘡にかからぬと信じられ多く

の参詣者があったそうです。

この塚に置かれている石は赤く変色しています。1つ借り願い事が叶ったら「普通の石を2つ」返しに行きます。違う色の石を置いても赤く染まってしまうことから、遠州七不思議の一つになっています。

駐車場：150号線の道端 トイレ：なし 看板が分りにくいので注意が必要です。

B16 三熊野神社

掛川市西大淵 5631-1 0537-48-2739



文武天皇の皇后が神前に皇子誕生を願い、念願がかなった事から、大宝元年に熊野権現の本宮をここに建立された由緒ある神社です。毎年4月の第一金・土・日曜日にかけて三熊野神社大祭が行われ、子授け神事

では全国各地から子授けを願って参拝者が訪れます。また、地固めの舞や御神輿の渡御行列、華やかな十三台の山車の曳き廻しや県無形文化財に指定されている「おかめ」「ひよっこ」の手古舞と祭り囃子の名調子は遠州地方に春の訪れを告げています。毎年、この時期は横須賀一体は祭り一色となり、伝統となっています。



駐車場：有り トイレ：有り <http://www4.tokai.or.jp/mikuma/index.html>

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B17 横須賀町並み・ちっちゃな文化展

掛川市横須賀地区

横須賀の中心部は、格子窓の家や古い看板の商家など、城下町の面影を色濃く残した町並みで、気軽なウォーキングに最適なコースとなっています。昔ながらのお店にちょっと入ってみると遠州凧や祭りの白足袋を作っているところを見ることができます。

また、毎年10月に行われている「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」には全国各地からの芸術家や見物客が数多く訪れ、地元の人のみならず、横須賀高校生も一緒になって町を盛り上げています。一度行ったら、あなたもリピーターになり、一年が待ち遠しくなること間違いありません。



地元高校生が伝統文化を継承。



民家が展示館に早変わり。



文化展中は、人で一杯です。



地元祭りを展示した足袋屋。



祭りの準備で忙しい。

ちっちゃな文化展開催中は指定駐車場有り

掛川観光協会：

<http://www.wbs.ne.jp/bt/kakegawa/>

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B18 愛石下美術館

掛川市横須賀 1512 0537-48-2061



昭和6年設立。個人の蒐集した絵画、書、陶磁器、民芸品、スタンプコレクションなど、ささやかながら陳列しています。建物は昭和初期の鉄筋コンクリート建としては当地方には数少ないひとつになっています。多人数や突然のご来館は、お断りすることがあるそうなので、事前予約をお願いします。

駐車場：なし（横須賀支所に車を置いて、歩いて出かけることをお勧めします。）

B19 愛石下羊羹

掛川市横須賀 1515-1 0537-48-2296

明治40年開業という老舗の和菓子屋。小豆、茶、栗など季節ごとの味わいが折り込まれた羊羹は、売切れ御免の人気商品です。あまりの人気のすごさに、近隣に迷惑をかけてはいけないと、土日でもやっていない日があります。ぶらっと行って店が開いていたら、まだ羊羹が残っていれば、超ラッキーです。

B20 清水邸庭園

掛川市西大淵 5298-2 0537-48-6456

元禄時代から続く旧廻船問屋の庭園は回遊式で湧水があり、四季の花々が咲き湧水亭ではお茶と和菓子が味わえます。この庭は、湧き水を巧みに取り入れて水の豊かさ、清らかさに特徴がある名園となっており、平成3年には、静岡県みずべ百選に選出されています。



営業時間：10:00-16:00 定休日：木曜日 駐車場：15台

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B21 横須賀城址

掛川市国安



初代大須賀氏から八家二十代、約二百九十年にわたり南遠地方の政治の中心であった横須賀城址は史跡公園として天守台跡などが整備されています。戦国時代末期は、東方の武田勢と西方の徳川勢が激しく衝突する勢力争いの舞台となったことで有名です。城跡からは、くっきりと駿河湾を一望することができます。当時は、もっと近くに、そして波の音も大きく感じる事ができたと思います。



駐車場：有り トイレ：有り

掛川観光協会：<http://www.wbs.ne.jp/bt/kakegawa/>

B22 とうもんの里

掛川市山崎 223 0537-48-0045



「とうもんの里」とは、「稲面（とうも）」または「田面（たおも）」に由来すると言われる言葉です。何も無いところ、それが「田園空間博物館」となっています。視界をさえぎるものが何もなく、抜

けるような青空がどこまでも続き、人の心をホッとさせる風景になっています。こんなところでも県内外の日本中から視察が相次いでいます。それは、小学生をはじめ、多くの方を対象とした研修会や農業実体験が行われ、「人が集い、ふれあえる」空間となり、注目を集めているからです。また週末には、自慢の農作物などが販売される「朝採り昼市」が開かれており、大人気です。

公式サイト：<http://www.toumon-s.jp/>

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

B23 「風街道」横須賀街道

掛川市三俣

横須賀街道は、年中西風が強い。そのため、住家を楨で囲った。楨は成長が早く、丈夫で刈り込むと葉が密生し、よく風を防ぐ。掛川市大東支所前の信号を西進して抜けると、すぐY字路になる。このY字路沿いは楨囲いが続き、昔の面影をよく残す。このY字路を左に行くと「掛塚街道」であった。Y字路正面の「宇田家」は、前が掛塚街道の基点で、楨の大木が目印になっていた。残念なことに、この木は今ではやや樹勢を欠く。



B24 「寺の町」横須賀

掛川市横須賀

「城下町、横須賀」は、また「寺の町」でもある。この小さな町には本当にたくさんの寺がある。上級の武士が自前の寺を持ったからだという。有名な寺の一部を紹介する。

山崎「撰要寺」 初代城主大須賀康高建立。市指定文化財の山門は、もと城の「搦手門（不開門）」。その他、4 m超の「大須賀家の石塔」、県指定文化財「本多家の巨大な石塔群」、「キリシタン灯籠」、県指定文化財「大久保一丘筆 真人図」など文化財が多数ある。

西大淵「龍眠寺」 市指定文化財「13代から20代城主西尾氏の墓石群」がある。

西大淵「窓泉寺」 初代大須賀康高が亡奥方のために建立。県指定文化財「朱塗二層山門」。



西大淵「恩高寺」 明治6年に解体された横須賀城天守閣の「鯨（しゃちほこ）」が残る。

西大淵「本源寺」 「横須賀城の門」を移築した市指定文化財「山門」。「城主井上家の石塔」。

西大淵「普門寺」 飛鳥時代末慶雲元年、文武天皇勅願で行基菩薩が開基。現任職で1200代目で全国屈指の古刹。昔は西大谷の谷全体が寺域であった。法相宗13代、その後天台宗に改宗し現在に至る。市指定文化財「弁天堂」「八所神社旧社殿」がある。

駐車場・トイレ：いずれの寺にもある。ただし、参拝者用であるので心遣いが必要である。

問合せ：掛川市大須賀支所 TEL 0537-48-1000